-成26年度 入学式挙行

対面式も

V>330



ちが自分たちの委員 チェリー、男バス、 た。吹奏楽部、アー 会也部活動を紹介し

員や部活動の部長た るために生徒会の役 学校のことを紹介す スでは、新一年生に れた生徒会ガイダン 入学式前日に行わ

新入生たちは魅了さ 活動も迫力があり、 競技を実演した。体 の各部がそれぞれの リング、柔道、剣道 男バレ、バド、レス れていた。 トとなった。どの部 かれ、大掛かりなセッ 育館にはマットが敷

生が入学。新一年生は緊張 もいらしていた。また、式 晴れの舞台に笑顔が多く見 今年度は三三〇人の新一年 先生である髙見澤正彦先生 の方々は自分の子供たちの した面持ちだった。保護者 ている生徒が多数見られた。 入学式には前年度の校長

日和だった。校門の前では、

天に恵まれ、絶好の入学式

学年担任団

副担任 竹内裕子先生

副担任 和田直樹先生

副担任 岩田益明先生

副担任 古見公弘先生

副担任 带刀秀幸先生

宮島秀紀先生

清水直先生 副担任 山口正樹先生

渡辺武志先生

土屋興巨先生

丸山恵子先生

羽田享先生

原茂昭先生

1組担任

2組担任

4組担任

5組担任

6組担任

7組担任

8組担任

副担任

日は風が強かったものの晴 5日(土)に行われた。当

平成26年度入学式が4月

の先生たちの発表もあった。 8組の関谷静香さんは、西 層華やかさが増した。 西高の校歌が流れ、より一 中には伴奏が新しくなった と思ったから。学校の設備 高の入学を決めた理由を 「甲子園を見てかっこいい 各クラスの担任、 副担任

保護者と一緒に写真を撮っ

場を目指して頑張りたい」

と意気込みを話した。

5組の林千紘さんは西高

晴らしい成績を残している。 さんは中学の頃に卓球で素

「高校ではインターハイ出

と決めているそうだ。関谷 た。部活動は卓球部に入る やカリキュラムが自分に合っ ていると思ったから」と語っ

新校長先生

生徒会ガイダンス 部活動に希望膨らむ

校長先生は授業中や部活

行われている海外交流につ た。また、西高では盛んに 化祭にしてほしい」と話し 文化祭、やりがいのある文 祭について「生徒でつくる いこと。多くの人に語学な いても「海外との交流はい 祭が楽しみだという。西高

とし、集会時にはあいさつ

がよくできる学校と話して

行事では強歩大会、

西高

生は西高生の印象を「明る

校からの赴任。桜井校長先

桜井達雄先生は長野西高

く元気で素直な生徒が多い」

桜井達雄で応援 ^{新校長} したい 生徒の活動に暖かいまなざ 動の時間など校内を歩き、 昨年度、甲子園に出場する と積極的な姿勢を示した。 どのふれあいをしてほしい の交流の際も、自ら英語で てくれた。 部活動に関して「全部活動 ユーモアもあり気さくな先 取り組みに対しても熱心で、 あいさつするなど学校での またSSHSやCCGSと んなで応援したい」と話し など多くの活躍がみられる しを送ってくださっている。 に上を目指してほしい。み

平社 井会 先科 生に

任に就いた平井先生は、本 気が良く挨拶が心地いいと 校の印象として、とても元 今年の春から社会科の新

りたいと語ってくれた。

う文化祭テーマが紹介され 生徒会によって「彩」とい

も、新入生と一丸となって、 た。文化祭へ生徒会として

では「文化祭や色々な行事 うだ。これからの高校生活 部で渡辺さんはチア部だそ は大谷さんはバドミントン と語った。入りたい部活動 の大谷咲也香さんと1組の る環境が整っていたから」 たから。また、勉強のでき 学でとてもいい雰囲気だっ 学を決めた理由を「体験入 渡辺莉央さんは西高への入 友達同士で来ていた3組

徒が目立った。

7日には対面式が行われ、

出場しているためか入学理

やはり前年度に甲子園に

生活を送っていきたい」と

由に「甲子園」を挙げる生

が楽しみだ。充実した高校

て頑張りたい」と意気込み と語った。「野球部に入っ 高で野球をしたかったから」 に行ったのを見て自分も西 「去年硬式野球部が甲子園 、の入学を決めた理由を

第二社会科研究室の平井

意があらわれていたようだ。 西高文化をつくってゆく決



されている。西高は昔と比 はレスリング部に所属して 卒業生でもあり、高校時代 語った。平井先生は本校の 増えているとおっしゃった。 が少なく、当たり前のこと べ服装や髪形などの注意点 てもレスリングのご指導を おり、新任として本校に来 が当たり前に出来る生徒が

今までの先生のイメージで ようなユニークな先生にな はなく生徒と気軽に話せる 今後の意気込みとして、